

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和3年 2月 16日

公表: 令和3年 2月 16日

事業所名: チャイルドハート東海甚目寺

|                  |    | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標                      |
|------------------|----|--|----|---------------|-----|--|---|
| 環境・<br>体制整備      | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係<br>で適切である                                      | 2  | 1             |     | ・活動によっては外部施設や<br>公園を利用している<br>・広くは無いが整理整頓や広<br>く使う工夫を行っている。        | 入り口や下駄箱周りのスペー<br>スを改修<br>する等行ったが、今後も検討を<br>重ねていく。 |
|                  | 2  | 職員の配置数は適切である   | 3  |               |     |  |   |
|                  | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の<br>配慮が適切になされている                               | 1  |               | 2   | ・現状必要な児童の受け入<br>れが無い。<br>利用者に応じた設備があり<br>必要に応じて拡張する余地<br>が存在する。    |   |
| 業務改善             | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標<br>設定と振り返り)に、広く職員が参画している                    | 3  |               |     | 日々のミーティング等とは別<br>に<br>月2回平均で全体会議があ<br>る。                           |   |
|                  | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアン<br>ケート調査を実施して保護者等の意向等を把<br>握し、業務改善につなげている     | 3  |               |     |  |   |
|                  | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホー<br>ムページ等で公開している                               | 3  |               |     |  |   |
|                  | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業<br>務改善につなげている                                 |    |               | 3   |  |   |
|                  | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会<br>を確保している                                    | 3  |               |     |  |   |
| 適切な<br>支援の提<br>供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の<br>ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課<br>後等デイサービス計画を作成している | 3  |               |     | 面談の際などお母様から積<br>極的に<br>意見を頂いており、支援計画<br>についても内容やその理由<br>の説明を行っている。 |   |
|                  | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、<br>標準化されたアセスメントツールを使用してい<br>る                 | 3  |               |     |  |   |
|                  | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている   | 3  |               |     |  |   |
|                  | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫してい<br>る   | 3  |               |     |  |   |
|                  | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細<br>やかに設定して支援している                             | 3  |               |     | 晴天・雨天・学校休業日、ま<br>た<br>季節的な影響を前提に内容<br>を鑑みている。                      |   |
|                  | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動<br>を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計<br>画を作成している            | 3  |               |     |  |   |

|              |                                  |   |   |   |   |   |   |
|--------------|----------------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 供            | 15                               | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                        | 3 |   |   |   |   |
|              | 16                               | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                   | 3 |   |   | 翌日のミーティングの際にも、前日の振り返りや共有を改めて行っている。              |   |
|              | 17                               | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                               | 3 |   |   |   |   |
|              | 18                               | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                             | 3 |   |   |   |   |
|              | 19                               | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている                                     | 3 |   |   |   |   |
| 関係機関や保護者との連携 | 20                               | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | 3 |   |   |   |   |
|              | 21                               | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 3 |   |   |   |   |
|              | 22                               | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             |   | 3 |   | ・現状、受け入れが無い。<br>・実際の状況が無い。                      | てんかんの内服をしている児童について、主治医との連携も必要と考えている。                          |
|              | 23                               | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                |   |   | 3 | 現状は無い。していけると良い。                                 |   |
|              | 24                               | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     | 3 |   |   | 実際に行った例があるが、ケース自体が少ない。                          |   |
|              | 25                               | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                          | 3 |   |   |   |   |
|              | 26                               | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                 | 2 | 1 |   | 児童館の利用などあったが、<br>本年は新型コロナの影響により無い。              |   |
|              | 27                               | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している   | 3 |   |   |   |   |
|              | 28                               | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                        | 3 |   |   |   |   |
|              | 29                               | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                       |   | 1 | 2 | 事業所⇒家庭の直接支援は少ない。<br>市等から提供される講座の内容等随時シェアを行っている。 | 新型コロナ禍でオンラインの研修が主流となった為、今後はZoom等を利用してペアレント・トレーニング等の支援も検討していく。 |
| 30           | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 3   |   |   |   |   |   |

|            |    |  |   |  |   |  |   |
|------------|----|--|---|--|---|--|---|
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                       | 3 |  |   | コロナ禍であるが、個別の相談は常時受け付けており、また面談の頻度も増やしている。   |   |
|            | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                   | 2 |  | 1 | ・コロナ禍により行えなくなった。<br>・本年は新型コロナの影響により行えていない。 | 今後もコロナ禍の影響が続くようであれば、オンラインで行える方法なども模索していく。 |
|            | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している             | 3 |  |   |  |   |
|            | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                               | 3 |  |   |  |   |
|            | 35 | 個人情報に十分注意している  | 3 |  |   |  |   |
|            | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | 3 |  |   |  |   |
|            | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   |   |  |   | 3  |   |
| 非常時等の対応    | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | 3 |  |   |  |   |
|            | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 3 |  |   |  |   |
|            | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 3 |  |   |  |   |
|            | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 3 |  |   |  |   |
|            | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 3 |  |   |  |   |
|            | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 3 |  |   |  |   |